

# 公安委員会定例会議(第2回)の開催状況

第1 日 時 令和5年1月25日(水)

午後1時30分 ～ 午後3時50分

第2 出席者 五葉委員長、曾我部委員、佐伯委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長  
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長  
総務課長

第3 議事の概要

1 佐伯委員説示

本日は、20世紀前半のドイツ文学を代表する小説家でノーベル文学賞を受賞したヘルマン・ヘッセの小説「アウグストゥス」について話します。

この小説は、主人を亡くし、非常に貧しい女性がたった一人で男の子を産んだ後、不思議な能力を持つおじいさんから1つだけ子供に関する願いを叶えてあげると言われ、「誰からも愛される子に」と願ったというお話です。

母親の祈りは叶えられ、誰もが少年の歓心を買いたがり、贈り物をし、あるいは愛情を注ぐなど、少年は人々に愛されて育ちます。少年は当然のごとく傲慢で歪んだ性格に育ち、周りの人を騙したり陥れたりしますが、それでも周囲の人は少年を愛しました。時が経ち、愛されることに値する人間ではないのに愛されることに絶望した少年は命を絶とうとします。

そんな少年の元に再びおじいさんが現れます。少年は、「誰からも愛されるように」という母親の願いを取り消し、「自分が誰をも愛せるように」なることを願いました。その後、その願いは叶いましたが、今まで周囲の人から愛され許されていたことが全て許されなくなり、今度は苦難に次ぐ苦難が押し寄せます。今まで虐げたり、騙してきた人たちから様々な報復を受け続けましたが、それでも少年は「本当の人生には痛みが伴う」ということを信念に生き抜き、人生の価値を見出したというものです。

私がこの小説を読んで思い浮かんだことは、受動から能動へ、つまり与えられることを願うのではなく、与えることを選ぶ生き方の大切さです。

教員という職業もそれに近い面はありますが、ある意味で警察職員は、犯罪を未然に防止するとともに犯人と対峙するという点において、能動的で安全安心を県民に与える仕事だと思います。地域住民の安全安心を守り社会に貢献していくという警察職員としての人生は、様々な充実感を得ることができると思います。

昨今のニュースを見ると、県外では高齢女性被害の強盗殺人や、独身女性被害のストーカーによる惨殺事件が発生するなど、弱い立場の女性や老人、子供等にとって大きな不安を感じる生きづらい社会になっていると感じます。県警職員には、自分で自分を守り切ることが難しい弱い立場の人々はもちろん、被害に遭った人々の無念を晴らすという信念を持って、仕事

に取り組み、県民の安全安心をしっかりと守っていただくことを期待しています。

## 2 決裁事項

### (1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和5年第1回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

### (2) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答

総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。

### (3) 警察職員の援助要求（承認）

刑事部から、警察職員の援助要求（承認）について伺いがあり了承した。

### (4) 愛媛県暴力団排除条例の適用（勧告）

刑事部から、愛媛県暴力団排除条例の適用（勧告）について伺いがあり了承した。

### (5) 責任者講習実施委託契約の再契約

刑事部から、責任者講習実施委託契約の再契約について伺いがあり了承した。

### (6) 愛媛県警察関係事務手数料条例の一部改正に関する議案

交通部から、愛媛県警察関係事務手数料条例の一部改正に関する議案について伺いがあり了承した。

### (7) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果12件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

## 3 報告事項

### (1) 令和4年12月定例県議会の開催結果

総務室長から、令和4年12月定例県議会の開催結果について報告があった。

委員から、「人口減少社会が進むことにより、警察官の採用情勢も厳しくなると予想される。引き続き、採用に向けたきめ細やかな情報発信に取り組むほか、業務の効率化にも努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「就職適齢人口の減少等を踏まえ、女性警察官の登用に積極的に取り組んでいただきたい。女性警察官には、あらゆる場面での活躍を期待している」との発言があった。

### (2) 令和5年度組織改編の概要

警務部長から、令和5年度組織改編の概要について報告があった。

委員から、「組織改編に満足することなく、現状をよく観察し定期的に見直し等を図りながら社会の変化に合わせた組織づくりに努めていただきたい。また、職員の適材適所の配置にも十分配慮していただきたい」との発言があった。

委員から、「強靱な組織基盤の確立に向け、必要性が認められる部署についてはしっかりとした体制を構築していただきたい」との発言があった。

(3) 令和4年中の特殊詐欺の現状と抑止対策

生活安全部長から、令和4年中の特殊詐欺の現状と抑止対策について報告があった。

委員から、「特殊詐欺の被害防止に加え、切羽詰まって手っ取り早く強盗に及ぶ組織的犯罪グループの取締りにもしっかりと取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「引き続き、地域住民に対する様々な機会を利用した広報啓発活動を展開するとともに、自動通話録音機貸出等による固定電話対策にも取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「特殊詐欺グループの末端被疑者の検挙に止まらず、組織上層部への「突き上げ捜査」を推進し、犯罪組織の壊滅を目指していただきたい」との発言があった。

(4) 地域警察官の活動状況（9月～12月）

生活安全部長から、9月から12月までの地域警察官の活動状況について報告があった。

委員から、「全ての地域警察官が、実際の職務質問において「勘」を働かせ、成果に結びつく仕事ができるようにしてほしい。そのためにも日頃から専門的知識を習熟し、各種訓練に取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「初任科生を始め若手警察官の育成に向け、ブラインド形式の実践的な職務質問訓練に取り組んでいただきたい」との発言があった。

(5) 令和4年中の機動隊活動概況

警備部長から、令和4年中の機動隊活動概況について報告があった。

委員から、「引き続き、あらゆる状況に対応できるように練度を高めるとともに、活動時における機動隊員の受傷事故防止を徹底していただきたい」との発言があった。

委員から、「女性隊員が能力・特性を発揮できるように風通しの良い職場環境づくりに努めていただきたい」との発言があった。

(6) 苦情の受理及び処理状況

総務室から、令和4年12月末現在の苦情の受理及び処理状況について報告があった。

(7) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件について報告があった。

#### 4 その他

本部長から、「委員説示のとおり、事件や事故を発生させないことが非常に重要である。県警察としては、高齢者が被害に遭いやすい特殊詐欺対策や交通事故抑止対策や、弱い立場にある女性や子どもが被害に遭いやすいストーカーやDVといった人身安全関連事案等についての防犯情報を積

極的に発信するなど、積極的かつ能動的な姿勢で業務に取り組んでまいりたい」との発言があった。

以 上